

令和8年度

# 専攻科学生募集要項

(出願書類添付)

## 専攻科入学案内

選抜区分	願書受付期間	選抜日
A. 学校長推薦による選抜	令和7年 5月 7日(水) ～ 5月 9日(金)	令和7年 5月17日(土)
B. 学力検査による選抜	令和7年 6月 2日(月) ～ 6月 4日(水)	令和7年 6月21日(土)
C. 社会人特別選抜	令和7年 4月21日(月) ～ 4月23日(水)	令和7年 5月17日(土)



独立行政法人国立高等専門学校機構  
**大分工業高等専門学校**  
National Institute of Technology, Oita College

〒870-0152 大分県大分市大字牧 1666 番地  
電 話 097-552-6359 (学生課教育支援係)  
F A X 097-552-6440 ( 学 生 課 )  
E-mail kshien@oita-ct.ac.jp  
ホームページ <https://www.oita-ct.ac.jp>



## 専攻科学生募集要項

1. 募集人員	1
2. 選抜日程	1
3. 選抜方法及び出願書類	1
4. 出願手続	3
5. 選抜日時等	5
6. 九大工学部・九州沖縄9高専連携教育 プログラムについて	8
7. 二次募集について	9
8. 入学手続	9
9. 個人情報の取扱いについて	9
10. 自然災害に伴う検定料免除の臨時措置 について	10
11. その他	10

## 添付の出願書類等

- 入学願書
- 入学志願者調査書
- 写真票・受験票
- 英語資格申告書
- 持込み電卓申告書
- 専攻科推薦書
- 小論文
- 専攻科受験承諾書
- 入学検定料の振込について（振込依頼書等）
- 連携教育プログラム用入学検定料の振込に  
ついて（振込依頼書等）
- 入学検定料「振込金受付証明書」提出票
- あて名票シール
- 封筒（角2－出願書類等送付用）
- 封筒（長3－受検票等送付用）

## 専攻科入学案内

1. 専攻科の設置	1
2. 修業年限及び修了要件	1
3. 専攻科入学前に必要な学習履歴	1
4. 専攻科の授業科目	1
5. 学士の学位取得	1
6. 入学時に必要な経費	1
7. 入学料及び授業料の免除	1
8. 奨学金制度	2
9. 学生寮	2



## アドミッション・ポリシー

### (入学者受入方針)

本専攻科が求める入学者は、次のとおりです。

- ①本校の学習・教育目標を達成する能力のある人
- ②本校の学習・教育目標を達成するために必要な学習履歴があり、一般及び専門の基礎学力を有する人

## 入学者選抜方針

本専攻科の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿って選抜します。

## 教育目的

人間性に溢れ国際感覚を備え、探求心、創造性、表現能力を有する技術者の養成

## 専攻科課程で養成する人材像

1. 高度情報化社会における先端技術に対応しうる課題探求能力を身につけた独創的かつ創造的研究開発能力を有する人材
2. 自ら方向性を定め学習し問題を発見して解析する力と問題を解決し自ら設計して新しいものを生み出す力を備え、高度な技術力と豊かな教養力に裏打ちされた創造的技術者

## 専攻ごとの人材養成目的

### 機械・環境システム工学専攻

機械・環境システム工学専攻では、準学士課程で修得した基礎学力を基盤に、機械システムと環境システムとの相互依存関係や高度な機械生産システム、高度な建設システム工学に深く関わる教育を展開し、地球環境問題にも対応可能な学際的・融合的教育を行うことによって、専門性に富み、相互に関連した高度技術社会における自己表現能力を育み、グローバルな視野に立った、発想力、構想力、実現化能力を有した研究・開発型創造的技術者の養成を目的とする。

### 電気電子情報工学専攻

電気電子情報工学専攻では、準学士課程で修得した基礎学力を基盤に、電気工学、電子工学、情報工学に関する様々な分野について、より高度で専門的な技術教育を行うことによって、高度情報社会に対応できる新技術の独創的かつ実践的な研究開発能力や解析能力及び問題解決能力を備え、深い教養と広い視野を有する国際性豊かな創造的技術者の養成を目的とする。

## 学習・教育目標

- (A) 愛の精神：世界平和に貢献できる技術者に必要な豊かな教養，自ら考える力，いつくしみの心を身につける
  - (A1) 自ら考える力を身につける
  - (A2) 技術者としての倫理を身につける
- (B) 科学や工学の基礎：科学の粋を極める技術者に必要な数学，自然科学，情報技術，専門工学の基礎を身につける
  - (B1) 数学，自然科学の力を身につける
  - (B2) 情報技術，専門工学の基礎を身につける
- (C) コミュニケーション能力：地域や国際舞台での活躍をめざして，多様な文化の理解とコミュニケーションできる力を身につける
  - (C1) 表現する力，ディスカッションする力を身につける
  - (C2) 英語を用いてコミュニケーションできる力を身につける
- (D) 技術者としてのセンス：創造的技術者としてのセンスを磨き，探究心，分析力，イメージ力を身につける
  - (D1) 探究心，分析力，イメージ力，デザイン能力を身につける
  - (D2) 協力して問題を解決する力を身につける
- (E) 専門工学の活用：専門工学の知識を修得して，その相互関連性を理解し，これを活用する力を身につける
  - (E1) 専門工学の知識を獲得する
  - (E2) 工学の相互関連性を理解する
  - (E3) 専門分野における研究開発の体験を通して問題を発見し，解決する力を身につける

本校は、「人間性に溢れ国際感覚を備え，探求心，創造性，表現能力を有する技術者の養成」を教育目的として掲げています。専攻科においては，この教育目的を実現するために「専攻科課程で養成する人材像」や「専攻ごとの人材養成目的」を定めた上，全学科及び専攻科を1つにした教育プログラム（システムデザイン工学プログラム）として、「学習・教育目標」を設定しています。この「学習・教育目標」には，上述のように（A）～（E）の5つの主目標とそれぞれを具体化した（A1）～（E3）の11の到達目標を設定しています。

専攻科入学生は，全員が本教育プログラムの履修生となりますので，これら全ての「学習・教育目標」を達成する必要があります。

令和8年度

## 大分工業高等専門学校専攻科学生募集要項

### 1. 募集人員

専攻	定員
機械・環境システム工学専攻	8人
電気電子情報工学専攻	8人
計	16人

### 2. 選抜日程

入学者の選抜は、次の日程により行う。

選抜区分	願書受付期間	選抜日	合格発表日
A. 学校長推薦による選抜	令和7年5月7日(水) ～5月9日(金)	令和7年5月17日(土)	令和7年5月22日(木)
B. 学力検査による選抜	令和7年6月2日(月) ～6月4日(水)	令和7年6月21日(土)	令和7年6月26日(木)
C. 社会人特別選抜	令和7年4月21日(月) ～4月23日(水)	令和7年5月17日(土)	令和7年5月22日(木)

### 3. 選抜方法及び出願書類

#### A. 学校長推薦による選抜

##### (1) 出願資格

推薦による入学を志願する者は下記(i)～(iii)の条件を全て満たしていること。

- (i) 令和8年3月に高等専門学校を卒業見込みの者
- (ii) 学業成績、人物共に優秀であると認められ、学校長から推薦された者
- (iii) 本校専攻科に入学する意志が強く、合格した場合は入学を確約できる者

※本校の在校生以外の志願者は、学習履歴等を確認する必要があるため、事前に電話等で問い合わせること。2週間程度を要するので期間を考慮したうえでご連絡ください。

##### (2) 選抜方法

面接(専門科目等に関する口頭試問を含む)及び出身学校長からの提出書類等により総合判定する。

##### (3) 出願に必要な書類

「4.5出願に必要な書類等」を参照のこと。(各番号は同欄に対応)

- ①入学願書 ②調査書 ③写真票 ④受験票 ⑤卒業見込証明書 ⑥成績証明書
- ⑨専攻科推薦書 ⑩入学検定料 ⑬受験票返信用封筒 ⑭あて名票

(4) 九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラムの志願者は、8ページを参照すること。

(5) 学校長推薦による選抜の結果、合格とならなかった場合の取扱い

学校長推薦による選抜の結果、合格とならなかった者で、学力検査による選抜の受験を希望する場合は、再度、入学検定料を振込の上、出願の手続きを行うこと。なお、その場合は、②調査書の提出は不要とする。

## B. 学力検査による選抜

(1) 出願資格

出願できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(B-1) 高等専門学校を卒業した者、又は令和8年3月に高等専門学校を卒業見込みの者

(B-2) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程を修了した者のうち学校教育法第58条の2（同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む。）の規定により大学に編入することができるもの

(B-3) 短期大学を卒業した者、又は令和8年3月に短期大学を卒業見込みの者

(B-4) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入することができるもの、又は令和8年3月に専修学校を修了見込みの者

(B-5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者、又は令和8年3月に同課程を修了見込みの者

(B-6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者、又は令和8年3月に同課程を修了見込みの者

※ 本校の卒業生及び在校生以外の志願者は、学習履歴等を確認する必要があるため、事前に電話等で問い合わせること。2週間程度を要するので期間を考慮したうえでご連絡ください。

(2) 選抜方法

学力検査の成績及び出身学校長からの提出書類等により総合判定する。但し、学力検査の専門と数学の得点で著しく低い点数がある場合には不合格となることがある。

(3) 出願に必要な書類

「4.5出願に必要な書類等」を参照のこと。（各番号は同欄に対応）

①入学願書 ③写真票 ④受験票 ⑤卒業証明書又は卒業見込証明書

⑥成績証明書 ⑦英語資格申告書及び英語能力試験の成績証明書 ⑧持込み電卓申告書

⑫入学検定料 ⑬受験票返信用封筒 ⑭あて名票

## C. 社会人特別選抜

(1) 出願資格

出願できる者は、次の各号の一に該当し、出願時において企業等に1年以上在籍した経験のある者とする。

(C-1) 高等専門学校を卒業した者

(C-2) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程を修了した者のうち学校教育法第58条の2（同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む。）の規定により大学に編入することができるもの

(C-3) 短期大学を卒業した者



- (C-4) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができるもの
- (C-5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (C-6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者

※学習履歴等を確認する必要があるため、事前に電話等で問い合わせること。2週間程度を要するので期間を考慮したうえでご連絡ください。

## (2) 選抜方法

面接（専門科目等に関する口頭試問を含む）、出身学校長からの提出書類及び小論文等により総合判定する。

## (3) 出願に必要な書類

「4.5出願に必要な書類等」を参照のこと。（各番号は同欄に対応）

- ①入学願書 ②調査書 ③写真票 ④受験票 ⑤卒業証明書 ⑥成績証明書 ⑩小論文  
 ⑪受験承諾書（入学後も企業等に在籍する者のみ） ⑫入学検定料 ⑬受験票返信用封筒  
 ⑭あて名票

## 4. 出願手続

### 4.1 願書受付期間

選 抜 区 分	願書受付期間	留 意 事 項
A. 学校長推薦による選抜	令和7年5月7日（水） ～5月9日（金）	郵送の場合も、5月9日（金） 午後4時までに必着のこと。
B. 学力検査による選抜	令和7年6月2日（月） ～6月4日（水）	郵送の場合も、6月4日（水） 午後4時までに必着のこと。
C. 社会人特別選抜	令和7年4月21日（月） ～4月23日（水）	郵送の場合も、4月23日（水） 午後4時までに必着のこと。

### 4.2 願書受付時間

午前9時から午後4時まで

### 4.3 願書受付場所

大分工業高等専門学校 学生課教育支援係  
 〒870-0152 大分県大分市大字牧1666番地  
 電 話 097 - 552 - 6359（学生課教育支援係）  
 F A X 097 - 552 - 6440（学 生 課）

### 4.4 出願方法

志願者は、出願に必要な書類等を整え、願書受付期間中に持参又は郵送すること。なお、郵送する場合は、別添の封筒に入れ必ず書留郵便とすること。

#### 4.5 出願に必要な書類等

(A：学校長推薦， B：学力検査， C：社会人特別選抜)

書類等	A	B	C	摘要
① 入学願書	○	○	○	本校所定の用紙に，本人が必要事項を記入すること。
② 調査書	○	-	○	<p>(1) 本校所定の用紙により，出身学校長が作成し厳封すること。</p> <p>(2) 出願資格 (B-2)，(C-2) により出願する者は，次の証明書を添付すること。</p> <p>1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）（以下、「高等学校等」という。）が発行する修業年限2年以上その他の文部科学大臣が定める基準を満たす高等学校等の専攻科の課程を修了したことを証明する証明書</p> <p>(3) 出願資格 (B-4)，(C-4) により出願する者は，次の証明書を添付すること。</p> <p>1) 専修学校が発行する修業年限2年以上で，修了に必要な総授業時間数が1700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書</p> <p>2) 専修学校の専門課程における学科の分野や履修内容が確認できる書類</p> <p>(4) 出願資格 (B-5)，(B-6)，(C-5)，(C-6) により出願する者は，出願資格にかかる最終学校の成績証明書を提出すること。</p>
③ 写真票	○	○	○	<p>本校所定の用紙に，写真を貼付すること。</p> <p>貼付する写真は，出願時前3か月以内に撮影した上半身・正面向・脱帽・無背景のもの（写真の大きさは縦4cm×横3cm）</p>
④ 受験票	○	○	○	本校所定の用紙に，本人が必要事項を記入すること。
⑤ 卒業証明書又は卒業見込証明書	○	○	○	出身学校長が作成したもの
⑥ 成績証明書	○	○	○	出身学校長が作成し厳封したもの
⑦ 英語資格申告書及び英語能力試験の成績証明書	-	○	-	<p>学力検査による選抜における試験科目「英語」については，筆記試験を実施せず，学力検査による選抜の選抜日から起算して3年以内のTOEIC L&amp;R（公開・IP），TOEIC Bridge L&amp;R（公開・IP），実用英語技能検定（以下，「実用英検」という。），技術英語能力検定（以下，「技術英検」という。）のいずれかの成績による評価を実施する。</p> <p>「英語資格申告書」とTOEIC L&amp;R（公開），TOEIC Bridge L&amp;R（公開）のOfficial Score Certificate，TOEIC L&amp;R（IP），TOEIC Bridge L&amp;R（IP）のScore Report，実用英検の合格証明書，技術英検の合格認定証のいずれかの原本を提出すること。原本は出願書類受付後に返却する。成績証明書等の原本の提出がない場合は，英語資格の申告がないものとし，英語の得点を0点とする。なお，詳細については，「5.選抜日時等」の「B.学力検査による選抜」の「(2) 試験科目及び出題範囲等」を参照のこと。</p>
⑧ 持込み電卓申告書	-	○	-	<p>本校所定の用紙により電卓の機種等を申告すること。</p> <p>(注) 専門科目の学力試験においては，試験室での電卓の使用を認めている。</p>
⑨ 推薦書	○	-	-	本校所定の用紙により，出身学校長が作成したもの

書類等	A	B	C	摘要
⑩ 小論文	-	-	○	本校所定の用紙（600字程度）に、勤務業績の内容及び「入学後の研究に対する抱負」を文章で記入すること。
⑪ 受験承諾書	-	-	○	本校所定の用紙により、所属長が作成したもの ※入学後も企業等に在籍する者のみ
⑫ 入学検定料	○	○	○	入学検定料（16,500円）は、添付の「振込依頼書」により、の銀行窓口又はゆうちょ銀行で振込み、「振込金受付証明書」又は「振込依頼書（兼振替払出請求書）【お客さま控】」を入学検定料「振込金受付証明書」提出票に貼付し提出のこと。 ただし、九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラムの志願者は、連携プログラム用「振込依頼書」を使用し、九州大学の入学検定料（30,000円）を納付すること。
⑬ 受験票返信用封筒	○	○	○	本校所定の封筒に、本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、速達郵便料金分の切手を貼付したもの（願書を直接持参する場合は不要）
⑭ あて名票	○	○	○	本校所定の用紙（2通分）に、合格通知書等を受け取る者の郵便番号・住所・氏名を記入したもの

#### 4.6 出願に関する注意事項

- (1) 提出書類等に不備があるものは受理しない。
- (2) 提出書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがある。
- (3) 書類提出後は、記載事項の変更は一切認めない。
- (4) 受理した出願書類及び入学検定料は返還しない。ただし、次に該当した場合は納付された検定料の返還請求ができる。
  - (ア) 検定料を納付したが出願しなかった又は出願したが受理されなかった場合
  - (イ) 検定料を重複して納付した場合

※返還請求をする場合は、願書受付期間最終日から14日以内に次の請求先までご連絡ください。  
請求先：本校総務課財務係 TEL：097-552-6190
- (5) 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を二重線で抹消押印し、訂正事項を記入すること。記載事項を削ったもの及び訂正押印のないものは、受け付けない。
- (6) 出願書類を受理した後、必要に応じてその他の書類の提出を求められることがある。
- (7) 本校の卒業生及び在校生以外の志願者は、学修履歴等を確認する必要があるため、事前に電話等で問い合わせること。2週間程度を要するので期間を考慮したうえで連絡してください。

## 5. 選抜日時等

### A. 学校長推薦による選抜

- (1) 選抜日時

令和7年5月17日（土）午前9時30分～  
※ 8時30分から9時までの間に受付を済ませて受験者控室に入室すること。
- (2) 選抜場所

大分工業高等専門学校

(3) 合格者の発表

令和7年5月22日(木) 午前10時

合格者の受験番号を本校内正門横の掲示板に掲示するとともに本校ホームページに掲載し、合格者には「合格通知書」を郵送する。なお、電話等による合否の照会には応じない。

(4) 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を令和7年5月30日(金) 午後4時までに本校学生課教育支援係に提出すること。

## B. 学力検査による選抜

(1) 選抜日時

令和7年6月21日(土)

※ 8時30分から9時までの間に受付を済ませて試験室に入室すること。

実施内容	時 間
試験室入室	9:00
専 門	9:30 ~ 11:00
数 学	11:20 ~ 12:20

(2) 試験科目及び出題範囲等

科目	時間	配点	出題範囲等	
専門	90分	300点	機械・環境システム工学専攻	A群(材料力学, 熱・水力学, 工業力学) B群(構造力学, 水理学, 土質力学) (注) 上記A, B群よりどちらかを選択
			電気電子情報工学専攻	電磁気学, 電気回路, 電子回路, 情報数理*, アルゴリズム*, 計算機工学* (注1) 上記6科目より3科目選択 (注2) *の付与された科目は下記②を参照
数学	60分	100点	微分・積分学, 線形代数, 微分方程式	
英語	なし	100点	(注) ③を参照	

(注) ① 学力検査に必要な用具は、受験票・鉛筆(シャープペンシル可)・消しゴム(カバーをはずしたもの)のみとする。ただし、専門科目については、関数電卓(BASIC言語などによるプログラム機能のないもの)の使用を認めるが、試験開始前に初期化(オールクリア)を行うこと。

② これらに対応する本科の授業科目は、以下のとおりである。

情報数理 … 離散数学(情報工学科4年), 情報数学(情報工学科4年)

アルゴリズム … アルゴリズムとデータ構造(情報工学科4年)

計算機工学 … コンピュータアーキテクチャ(情報工学科4年), デジタル回路(情報工学科4年)

- ③ 学力検査による選抜における試験科目「英語」については、筆記試験を実施せず、学力選抜の学力検査日から起算して3年以内の TOEIC L&R (公開・IP), TOEIC Bridge L&R(公開・IP), 実用英検, 技術英検の成績に基づいて英語の得点を換算する。換算点は次表のとおりとする。

TOEIC L&R (公開・IP)	得点 = (TOEIC スコア - 250) × 0.4 (TOEIC スコア 250 以下は 0 点, 500 以上は 100 点)
TOEIC Bridge L&R (公開・IP) (スコア 100 上限で実 施されたもの)	得点 = (TOEIC Bridge スコア - 53) × 100/38 (TOEIC Bridge スコア 53 以下は 0 点, 91 以上は 100 点)
実用英検	準 2 級 = 60 点, 2 級以上 = 100 点
技術英検	2 級 = 70 点, 1 級以上 = 100 点

申告及び成績証明書原本の提出がない場合は英語の得点を 0 点とする。小数点以下は四捨五入する。

- (3) 選抜場所

大分工業高等専門学校

- (4) 合格者の発表

**令和7年6月26日(木) 午前10時**

合格者の受験番号を本校内正門横の掲示板に掲示するとともに本校ホームページに掲載し、合格者には「合格通知書」を郵送する。なお、電話等による合否の照会には応じない。

- (5) 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を**令和7年11月28日(金) 午後4時**までに本校学生課教育支援係に提出すること。

## C. 社会人特別選抜

- (1) 選抜日時

**令和7年5月17日(土) 午前9時30分～**

※ 8時30分から9時までの間に受付を済ませて受験者控室に入室すること。

- (2) 選抜場所

大分工業高等専門学校

- (3) 合格者の発表

**令和7年5月22日(木) 午前10時**

合格者の受験番号を本校内正門横の掲示板に掲示するとともに本校ホームページに掲載し、合格者には「合格通知書」を郵送する。なお、電話等による合否の照会には応じない。

- (4) 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を**令和7年5月30日(金) 午後4時**までに本校学生課教育支援係に提出すること。

## 6. 九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム（以下連携教育プログラム）について

### (1) 概要

九州大学工学部と九州沖縄の9高専が連携し行う連携教育プログラムである。

修学は、九州大学工学部「融合基礎工学科」と高専の専攻科で行い、履修者は九州大学と連携高専専攻科の双方に在籍し双方の教育課程（連携教育プログラム用）を受講する。

連携教育プログラム所定の課程を修了した者には、専攻科の修了証書並びに九州大学からの卒業証書（学士の学位記）が交付される。

### (2) 募集人員

若干名

### (3) 出願資格

3. A学校長推薦による選抜により合格した者のうち、連携教育プログラムの入学確約ができ、かつ所定の出願書類（九州大学工学部融合基礎工学科の指導予定教員の推薦書を含む）がすべて提出できる者。

### (4) 出願手続

#### ①本校専攻科

本校専攻科入学願書において、志望選抜区分の「推薦」の記号と連携教育プログラム志望欄の「有」の両方を○で囲むこと。

（注意）入学検定料の額は、九州大学入学者選抜に係る検定料を含み、30,000円で、所定の「振込依頼書」を使用すること。

#### ②九州大学工学部融合基礎工学科

「令和8（2026）年度九州大学工学部編入学 九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム特別選抜 学生募集要項」（以下、「九大募集要項」という。）によるものとする。

### (5) 選抜の方法

#### ①本校専攻科

学校長推薦による選抜の際、連携教育プログラム独自の口頭試験が追加となる。

#### ②九州大学工学部融合基礎工学科

書類審査及び口頭試験

### (6) 合格者の発表

#### ①本校専攻科 学校長推薦による選抜の合格発表に含む。 ※選抜日程参照

合格の場合、九州大学工学部融合基礎工学科による選抜への出願が可能となる。

#### ②九州大学工学部融合基礎工学科

九大募集要項を確認すること。

## (7) 追試験の実施

### ①本校専攻科

インフルエンザウイルスや新型コロナウイルスの感染症等による影響への対応として、連携教育プログラム志望で学校長推薦による選抜を受験できなかった者のうち、以下に該当する者に対して追試験を実施する。

ア. 学校保健安全法施行規則(昭和33年文部省令第18号)第十八条に定める感染症に感染し、本試験を受験できない者

イ. 新型コロナウイルス感染症に罹患している疑いがあり、本試験を受験できない者

ウ. 月経随伴症状等による体調不良により本試験を受験できない者

※感染症により本試験を受験できないと判断された時点で、必ず、本校学生課に連絡すること。

※当日もしくは後日、必ず保健所等に相談のうえ医療機関等を受診し、医療機関等が発行した証明書を受領すること。

※速やかに追試験受験申請書及び医療機関等が発行した証明書を提出すること。

※選抜日時(本試験実施後2週間以内を目途とする)、合格発表、入学確約書提出日等の詳細については、別途連絡する。

### ②九州大学工学部融合基礎工学科

九大募集要項を確認すること。

## (8) その他

連携教育プログラム志望で学校長推薦による選抜により本校専攻科に合格した者が九州大学工学部融合基礎工学科への出願または入学を辞退したときは、本校専攻科への入学も辞退したものとする。

連携教育プログラム所定の課程を修了した者には、九州大学から学士の学位記が交付されるため、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が行う学位授与に関する審査は不要である。そのため、連携教育プログラム履修者の本校専攻科における学位授与申請は行わない。

## 7. 二次募集について

合格者の手続き状況等により、二次募集を行うことがある。

## 8. 入学手続

入学手続きについては、令和8年3月初旬に別途合格者に通知する。なお、所定の日時までに入学金を納入しない場合は、入学辞退者として取り扱う。

## 9. 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価等入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用し、それ以外には使用しません。

(1) 入学後の教育・指導

(2) 入学金、授業料免除申請の審査

(3) 奨学金申請の審査

(4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

## 10. 自然災害に伴う検定料免除の臨時措置について

主たる家計支持者の居住地が災害による被災に伴い災害救助法の適用を受け、居住する家屋が被害を受けた場合、被災日以降に出願手続を行う入学者選抜において、罹災証明書等の必要書類の提出によって、検定料が免除となる場合があります。

該当する場合には、検定料を振り込む前に本校学生課教育支援係（TEL：097-552-6359）までお問い合わせください。

## 11. その他

### (1) 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

大分工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに大分工業高等専門学校学生課教育支援係（TEL：097-552-6359）までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の一か月前を過ぎたからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、学生、学生の保護者及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)高等専門学校等入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても学生課教育支援係までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

### (2) 募集要項及び入学案内に関し、不明な点は裏表紙の問い合わせ先に照会すること。



令和8年度 大分工業高等専門学校専攻科

入学願書

		受験番号	※	
志望専攻	工学専攻		志望する 選抜区分	A. 推薦 B. 学力 C. 社会人 (志望する選抜の記号を○で囲む)
		推薦の場合の連携教育プログラム志望		有 ・ 無
ふりがな		男・女	生年月日	昭和 平成 年 月 日
氏名			入学した場合の 入寮希望の有無	有 ・ 無
出願資格	学校名	学科等名		
	平成・令和 年 月 卒業・卒業見込・修了・修了見込			
現住所	〒 -		TEL ( ) -	
受験関係 連絡先	〒 -		TEL ( ) -	
中学校 卒業後 の学歴及び 職歴	平成・令和 年 月	中学校卒業		
	自 平成・令和 年 月			
	至 平成・令和 年 月			
	自 平成・令和 年 月			
	至 平成・令和 年 月			
	自 平成・令和 年 月			
勤務先	名称 (部・課まで)			
	所在地	〒 -		TEL ( ) -

(記入上の注意)

- ※印の欄は記入しないで、その他の欄については、志願者本人が記入すること。
- 黒インク又は黒のボールペン（消せるボールペンは不可）を使用し、正確かつ明瞭に記入すること。
- 勤務先欄は、企業等に在職の社会人のみ記入すること。
- 記入事項のない欄は斜線を引いてください。



令和8年度 大分工業高等専門学校専攻科

入学志願者調査書

志望専攻	工学専攻		受験番号	※		
ふりがな	氏名	男・女	生年月日	昭和 年 月 日		
				平成 年 月 日		
学校名		学科等名				
平成・令和 年 月 入学・編入学・転入学			平成・令和 年 月 卒業・卒業見込・修了・修了見込			
学業成績	学年	学科内席次	評価又は平均点	本調査書における評価基準	A	点 ~ 点
	1年	人中 位			B	点 ~ 点
	2年	人中 位			C	点 ~ 点
	3年	人中 位			D	点 ~ 点
	4年	人中 位			E	点 ~ 点
	5年	人中 位				点 ~ 点
卒業研究題目						
在学中の状況	(人物・課外活動・生活態度等を記入してください。)					
上記のとおり相違ないことを証明する。 令和 年 月 日 学校名 学校長名 職印						

(記入上の注意)

※印の欄は記入しないこと。



令和8年度  
大分工業高等専門学校専攻科

写 真 票

受験番号	※
志望専攻	工学専攻
ふりがな	
氏 名	

※印の欄は記入しないこと。

出願時前3か月以内に  
撮影した写真をここに  
貼ってください。

正面・上半身・脱帽・  
無背景

縦 4 cm  
横 3 cm

令和8年度  
大分工業高等専門学校専攻科

受 験 票

受験番号	※
志望専攻	工学専攻
ふりがな	
氏 名	

※印の欄は記入しないこと。

選抜日時

学校長推薦による選抜

令和7年5月17日(土) 午前9時30分～

学力検査による選抜

令和7年6月21日(土) 午前9時30分～

社会人特別選抜

令和7年5月17日(土) 午前9時30分～

注意事項

1. 受験者は当日9時までに、本校で受付を済ませ、指定場所に集合すること。
2. 受験票は、常に携帯すること。
3. 受験票を忘れたとき又は紛失したときは直ちに学生課教育支援係へ申し出て、仮受験票の交付を受けること。

切りはなさないこと

## 学力検査日程

実施内容	時 間
試験室入室	9 : 00
専 門	9 : 30 ~ 11 : 00
数 学	11 : 20 ~ 12 : 20

### 学力検査時の注意

1. 受験票は大切に保管し、学力検査当日必ず持参すること。検査中は机上に置くこと。
2. 試験室には、計算機能・翻訳機能の付いた腕時計は持ち込めない。
3. 携帯電話等の通信機器は電源を切り、所定の場所に置くこと。
4. 学力検査に必要な用具は、受験票・鉛筆（シャープペンシルも可）・消しゴム（カバーをはずしたもの）のみとする。  
ただし、専門科目については、関数電卓（BASIC 言語などによるプログラム機能のないもの）の使用を認めるが、試験開始前に初期化（オールクリア）を行うこと。
5. 試験開始後 20 分以上の遅刻者は、受験を認めない。

大分工業高等専門学校専攻科

令和8年度 大分工業高等専門学校専攻科

英語資格申告書

志望専攻	工学専攻			受験番号	※
氏名				記入年月日	令和 年 月 日
英語資格の種類	取得スコアまたは合格資格			取得日	備考 換算点
TOEIC L&R	スコア	点		年 月 日	※ ※
TOEIC Bridge L&R	スコア	点		年 月 日	※ ※
実用英検	取得級	準2級	2級以上	年 月 日	※ ※
技術英検	取得級	2級	1級以上	年 月 日	※ ※
(記入上の注意) 1. TOEIC L&R (公開・IP), TOEIC Bridge L&R (公開・IP) のスコア, 実用英検, 技術英検に合格した級の換算点の最も高いもの1つを申告すること。 2. 学力検査における選抜の選抜日から起算して, 3年以内に取得した TOEIC L&R (公開・IP), TOEIC Bridge L&R (公開・IP) のスコアの記入, 又は実用英検, 技術英検に合格した級に○印を記入すること。 3. TOEIC L&R (公開), TOEIC Bridge L&R (公開) の Official Score Certificate, TOEIC L&R (IP), TOEIC Bridge L&R (IP) の Score Report, 実用英検の合格証明書, 技術英検の合格認定証のいずれかの原本を提出すること。原本の提出がない場合は, 英語資格の申告がないものとする。 4. ※印の欄は記入しないこと。					

英語得点の換算は下記とする。

略記	換算式	正式名称
TOEIC L&R (公開・IP)	$(\text{TOEIC スコア} - 250) \times 0.4 = \text{得点}$ (TOEIC スコア 250 以下は 0 点, 500 以上は 100 点)	Test of English for International Communication
TOEIC Bridge L&R (公開・IP) (スコア 100 上限で実施されたもの)	$(\text{TOEIC Bridge スコア} - 53) \times 100/38 = \text{得点}$ (TOEIC Bridge スコア 53 以下は 0 点, 91 以上は 100 点)	Test of English for International Communication Bridge
実用英検	準2級 = 60点, 2級以上 = 100点	実用英語技能検定
技術英検	2級 = 70点, 1級以上 = 100点	技術英語能力検定

TOEIC L&R (公開・IP), TOEIC Bridge L&R (公開・IP), 実用英検, 技術英検の申告及び成績証明書原本の提出がない場合は, 英語の得点を 0 点とする。  
 小数点以下は四捨五入する。





令和8年度 大分工業高等専門学校専攻科

持 込 み 電 卓 申 告 書

志望専攻	工学専攻	受験番号	※
氏 名		記入年月日	令和 年 月 日
<p>専門科目の学力試験においては、試験室での関数電卓（BASIC 言語などによるプログラム機能のないもの）の使用を認めていますが、試験開始前に初期化（オールクリア）を行っていただきます。</p> <p>つきましては、事前に試験室に持ち込む電卓の機種等を下記により申告願います。</p>			
メーカー名	型 番	備 考	
<p>(記入上の注意) ※印の欄は記入しないこと。</p>			



受験番号	※
------	---

(この欄は記入しないこと。)

## 専攻科推薦書

令和 年 月 日

大分工業高等専門学校長 殿

学校名

学校長名

職印

下記の者は、調査書のとおり成績が優秀で、人物も優れており、貴校専攻科の入学にふさわしい者と認められるので推薦します。

記

(ふりがな) 氏名		男 ・ 女	昭和 平成	年	月	日生
所属学科						
志望専攻名	工学専攻					
推薦理由	(特に必要な場合のみ記入)					
記載責任者職・氏名						印



受験番号	※
------	---

(この欄は記入しないこと。)

## 小論文

志望 専攻名	大分工業高等専門学校専攻科 工学専攻	ふりがな 氏名	
NITE, Oita			

(注) 600字程度横書きで記入すること



受験番号

※

(この欄は記入しないこと。)

## 専攻科受験承諾書

令和 年 月 日

大分工業高等専門学校長 殿

勤務先

役職

氏名

職印

下記の者が貴校の専攻科入学試験を受験することを承諾いたします。

記

(ふりがな)

受験者氏名

生年月日

昭和・平成

年 月 日

所属部・課・係等

(注) この受験承諾書は、入学後も企業等に在職する者のみ提出すること。





# 入学検定料の振込について

令和8年度大分工業高等専門学校入学検定料については、以下の点にご注意願います。なお、振込みの際には別途手数料が必要となります。

- 入学検定料の振込みは銀行窓口にてお願いいたします。ゆうちょ銀行から振込みをする場合は、以下の用紙は利用できませんので、窓口にてゆうちょ銀行専用の「振込依頼書」を受け取り、ご記入いただく必要がございます。
  - 銀行の収納印をもって本校の領収書に代えさせていただきます。
  - 振込みの手続きは出願に必要な書類等を持参又は郵送する前に必ず行ってください。
  - 振込金領収証書（本人保存用）は、必要により確認することがありますので、大切に保管してください。
  - 振込金受付証明書（学校提出用）は、別添の「振込金受付証明書」提出票に貼付してください。ゆうちょ銀行にて振込を行った場合は、「振込依頼書（兼振替払出請求書）【お客さま控】」については、本人振替払出請求書【お客さま控】を受領し、その用紙を貼付してください。なお、「振込依頼書（兼振替払出請求書）【お客さま控】」については、本人保存分を貼付することになりますので必ず写しを保管してください。
- ※ゆうちょ銀行からの振込みは口座からのみ可能で、現金による振込みはできません。ご利用の際は、「通帳とお届け印」又は「キャッシュカード」が必要となりますので、ご注意ください。

(きりとり線)

## 振込金受付証明書(学校提出用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	¥16,500-			
振込先	大分銀行明野支店			
受取人	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部			
フリガナ	.....			
志願者氏名	.....			

上記の金額正に  
受取りました。  
(取扱店)

銀行  
支店

収納印

## 振込金領収証書(本人保存用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	¥16,500-			
振込先	大分銀行明野支店			
受取人	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部			
フリガナ	.....			
志願者氏名	.....			

(銀行で切り離してください)

上記の金額正に  
受取りました。  
(取扱店)

銀行  
支店

収納印

取扱銀行へ  
お願い

## 電信扱

### 振込依頼書(取扱店保存用)

依頼日	令和	年	月	日	振込指定	電信扱	手数料
振込先	大分銀行明野支店				金額	現金	¥16,500-
受取人	普通預金 5456105				内訳	現金	
フリガナ	.....					当手	
志願者氏名	.....					他手	
住所	.....				電話番号	( )	

振込人名は必ず志願者氏名を打植してください。

本指定期間以外での使用は出来ません。  
自動振込機での振込は出来ません。  
(銀行で切り離してください)

電話番号 ( )

収納印又は振替印



## 連携教育プログラム用

## 入学検定料の振込について

令和8年度大分工業高等専門学校入学検定料については、以下の点にご注意願います。なお、振込みの際には別途手数料が必要となります。

- 入学検定料の振込みは銀行窓口にてお願いいたします。ゆうちょ銀行から振込みをする場合は、以下の用紙は利用できませんので、窓口にてゆうちょ銀行専用の「振込依頼書」を受け取り、ご記入いただく必要があります。
- 銀行の収納印をもって本校の領収書に代えさせていただきます。
- 振込みの手続きは出願に必要な書類等を持参又は郵送する前に必ず行ってください。
- 振込金領収証書（本人保存用）は、必要により確認することがありますので、大切に保管してください。
- 振込金受付証明書（学校提出用）は、別添の「振込金受付証明書」提出票に貼付してください。ゆうちょ銀行にて振込を行った場合は、「振込依頼書（兼振替払出請求書）【お客さま控】」については、本人振替払出請求書【お客さま控】を受領し、その用紙を貼付してください。なお、「振込依頼書（兼振替払出請求書）【お客さま控】」については、本人保存分を貼付することになりますので必ず写しを保管してください。

※ゆうちょ銀行からの振込みは口座からのみ可能で、現金による振込みはできません。ご利用の際は、「通帳とお届け印」又は「キャッシュカード」が必要となりますので、ご注意ください。

(きりとり線)

### 振込金受付証明書(学校提出用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	¥30,000-			
振込先	大分銀行明野支店			
受取人	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部			
フリガナ				
志願者氏名				

上記の金額正に  
受取りました。  
(取扱店)

銀行

支店

収納印
-----

### 振込金領収証書(本人保存用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	¥30,000-			
振込先	大分銀行明野支店			
受取人	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部			
フリガナ				
志願者氏名				

上記の金額正に  
受取りました。  
(取扱店)

銀行

支店

収納印
-----

取扱銀行へ  
お願い

### 電信扱 振込依頼書(取扱店保存用)

依頼日	令和	年	月	日	振込指定	金額	手数料
振込先	大分銀行明野支店				普通預金	5456105	¥30,000-
受取人 口座名	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部				入金	現金	
フリガナ					内訳	当手	
志願者氏名						他手	
住所							
電話番号							

振込人名は必ず志願者氏名を打植してください。  
本指定用紙以外の使用は出来ません。  
自動振込機での振込は出来ません。  
(銀行で切り離してください)

収納印又は振替印
----------



令和8年度 大分工業高等専門学校専攻科

## 入学検定料「振込金受付証明書」提出票

受験番号	※
------	---

(この欄は記入しないこと。)

志望専攻名	工学専攻
-------	------

氏名	
----	--

銀行受付印のある振込金受付証明書（学校提出用）を貼ってください。

※ ゆうちょ銀行から振込みを行った場合は、「振込依頼書（兼振替払出請求書）【お客さま控】」を貼ってください。



# 専攻科入学案内

## 1. 専攻科の設置

平成 15 年 4 月

## 2. 修業年限及び修了要件

修業年限 2 年

修了要件 専攻科の修了には、次の要件を全て満たさなければなりません。

- 一 学則第 53 条に規定する要件のほか、全ての必修科目を修得したと認められること。
- 二 大分工業高等専門学校システムデザイン工学プログラム履修規則第 14 条第 1 項のうち第一号から第四号の修了要件を満たしていること。

## 3. 専攻科入学前に必要な学習履歴

専攻科に入学する前には、高等専門学校等の高等教育機関において 2 年間の学習履歴（高等専門学校卒業生においては第 4 学年及び第 5 学年の学習）が必要です。詳しくは、本校のホームページ（JABEE 関連情報→「システムデザイン工学プログラム」→「システムデザイン工学プログラム履修の手引き」）をご覧ください。

## 4. 専攻科の授業科目

専攻科の授業科目は、「一般科目」「共通専門科目」「専門科目」で構成されています。

なお、各専攻における授業科目については、別表 1, 2 の各専攻教育課程表を参照してください。

## 5. 学士の学位取得

本校の専攻科を修了し、一定の条件を満たしたものについては、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が行う審査を受けて、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた場合に、学士（工学）の学位を取得できます。

## 6. 入学時に必要な経費 ※予定額

(1) 入学料 84,600 円

(2) 前期授業料 117,300 円（年額 234,600 円）

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(3) 教科書等 50,000 円程度

※連携教育プログラムにおける入学時の必要経費は、次の予定額を九州大学に納付することになります。

(1) 入学料 282,000 円

(2) 前期授業料 267,900 円（年額 535,800 円）

## 7. 入学料及び授業料の免除

(1) 入学料免除、入学料徴収猶予

入学前 1 年以内に、学資負担者が死亡した場合又は入学する者もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合等の事情により納付が著しく困難であると認められる場合には、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

また、経済的理由等で納付期限までに納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合は、徴収を猶予する制度があります。（徴収猶予の最長は当該年度 3 月）

(2) 授業料免除・徴収猶予

学ぶ意欲があり、世帯収入や資産の要件を満たしている場合、国の高等教育の修学支援新制度を利用することができます。

この制度は、給付型奨学金と授業料の減免がセットになったもので、奨学生として採用された場合、併せて申込みをしていただくことで、奨学金の支援区分に応じて、Ⅰ（満額）、Ⅱ（2/3）、Ⅲ（1/3）の授業料免除を受けることができます。

また、災害により被災した場合や、家計急変に伴う特例の免除制度もありますので、詳細については、担当係にお尋ねください。

なお、経済的理由等で納付期限までに授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合は、徴収を猶予する制度もあります。

※連携教育プログラムにおける入学料及び授業料免除制度については、九州大学での手続きとなりますので、九州大学からの通知を確認してください。

## 8. 奨学金制度

(1) 貸与型奨学金

日本学生支援機構の規定に基づき、学業成績・人物ともに優れ、学資の支弁が困難と認められる者に対して、本人の申請に基づき選考のうえ奨学金を貸与する制度があります。予約採用はありませんので、入学後4月の申込になります。

第一種奨学金（無利子）の奨学金月額（日本学生支援機構が定めた収入基準額以下の場合）

区 分	貸 与 月 額
自宅通学者	20,000 円, 30,000 円, 45,000 円から選択
自宅外通学者	20,000 円, 30,000 円, 40,000 円, 51,000 円から選択

第二種奨学金（有利子）の奨学金月額

貸 与 月 額	20,000 円～ 120,000 円の範囲で1万円単位で選択
---------	---------------------------------

詳しくは、日本学生支援機構のホームページを参照してください。

(2) 給付型奨学金

日本学生支援機構の給付奨学金は国の高等教育における修学支援新制度のひとつで、住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生が利用できる制度です。

奨学生として採用されると、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分及び第Ⅲ区分のいずれかで認定され、区分によって奨学金の受給額が変わります。また、申込の基準を満たし給付奨学金の対象となった場合は、別途申請に基づき授業料・入学料の免除又は減免を受けることができます。

詳しくは、日本学生支援機構のホームページを参照してください。

(3) その他

他にも地方公共団体や財団法人等の奨学金があります。学校に案内があれば、その都度掲示でお知らせします。

## 9. 学生寮

本校には、男子寮、女子寮があり、約 200 人の学生が生活しています。

寮費は、光熱水費等の管理費が月額 11,000 円、食費は日額 1,300 円です。



別表1

## 機械・環境システム工学専攻教育課程表

令和7年度入学生から適用

区分	授業科目	単位数	学年別配当(単位数)				必修 選択 の別	備考
			1年		2年			
			前期	後期	前期	後期		
一般科目	歴史学特論	2		2			必修	
	英語コミュニケーション演習Ⅰ	1	1				必修	
	英語コミュニケーション演習Ⅱ	1		1			選択	
	応用数学特論	2	2				選択	
	物理学特論	2		2			必修	
	身体運動の科学	2				2	選択	
一般科目開設単位小計		10	3	5	0	2		
			8		2			
共通専門科目	宇宙地球科学	2			2		必修	
	環境化学	2			2		選択	
	社会技術概論	2		2			必修	
	知的財産論	2				2	必修	
	農学概論	2	2				選択	
	災害レジリエンス工学	2		2			選択	
経営デザイン	2			2		選択		
共通専門科目開設単位小計		14	2	4	6	2		
			6		8			
専門科目	特別研究Ⅰ	8	4	4			必修	
	特別研究Ⅱ	8			4	4	必修	
	プロジェクト実験	2	2				必修	
	つながり工学演習	1		1			必修	
	つながり工学	2				2	選択	
	専門応用力演習	1			1		選択	
	情報技術	2		2			必修	
	実務実習	2	2				選択	
	非線形解析学	2			2		選択	
	生体材料工学	2			2		選択	
	廃棄物処理工学	2				2	選択	
	水環境工学	2		2			選択	
	材料強度学	2	2				選択	
	塑性加工学	2		2			選択	
	流体力学	2	2				選択	
	熱流体計測	2				2	選択	
	熱物質移動論	2	2				選択	
	混相流工学	2		2			選択	
	固体力学	2	2				選択	
	地盤工学特論	2			2		選択	
	構造工学特論	2			2		選択	
	都市環境学	2	2				選択	
	環境地盤工学	2				2	選択	
交通システム工学	2		2			選択		
コンクリート診断学	2				2	選択		
造形デザイン	2	2				選択		
都市地域解析論	2				2	選択		
専門科目開設単位小計		64	20	15	13	16		
			35		29			
全科目開設単位合計		88	25	24	19	20		

注 1) 大学等で修得した単位は、30単位を限度として修得単位数に加えることができる。

注 2) 他の専攻で開設されている選択科目で修得した単位は、8単位を限度として修得単位に加えることができる。

別表2

## 電気電子情報工学専攻教育課程表

令和6年度入学生から適用

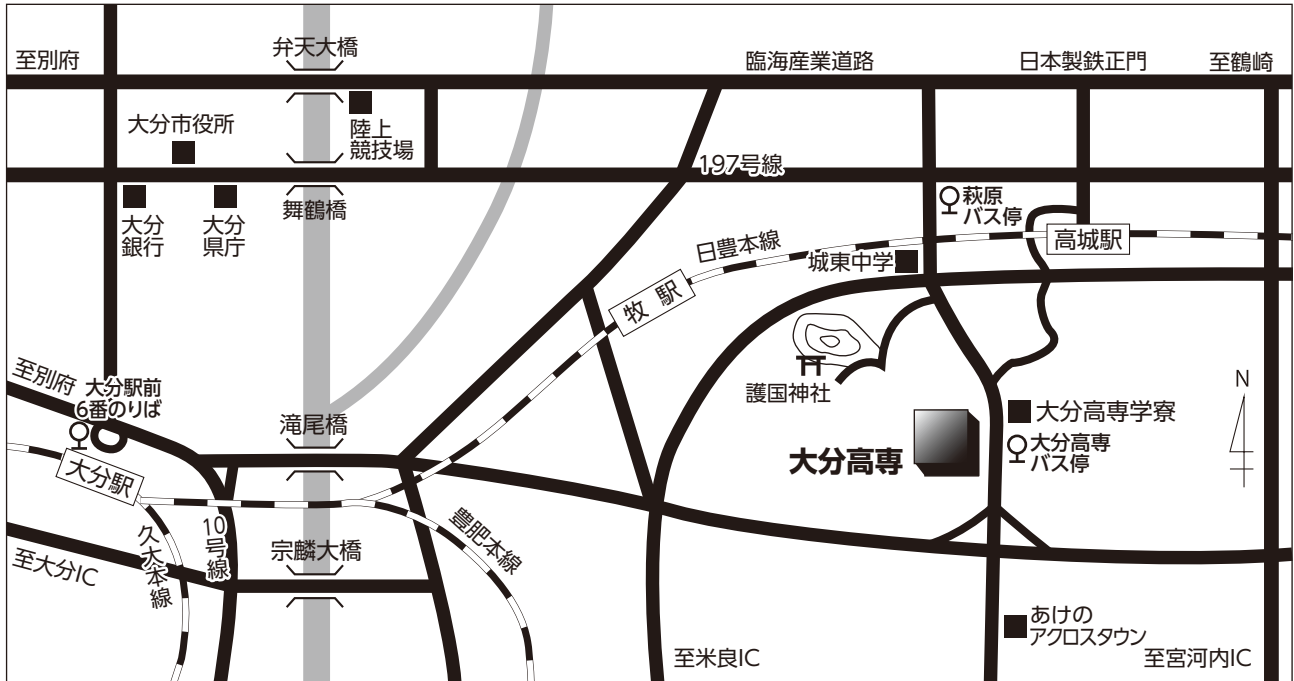
区分	授 業 科 目	単位数	学年別配当 (単位数)				必修 選択 の別	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
一般科目	歴史学特論	2		2			必修	
	英語コミュニケーション演習Ⅰ	1	1				必修	
	英語コミュニケーション演習Ⅱ	1		1			選択	
	応用数学特論	2	2				選択	
	物理学特論	2		2			必修	
	身体運動の科学	2				2	選択	
一般科目開設単位小計		10	3	5	0	2		
			8		2			
共通専門科目	宇宙地球科学	2			2		必修	
	環境化学	2			2		選択	
	社会技術概論	2		2			必修	
	知的財産論	2				2	必修	
	農学概論	2	2				選択	
	災害レジリエンス工学	2		2			選択	
	経営デザイン	2			2		選択	
共通専門科目開設単位小計		14	2	4	6	2		
			6		8			
専門科目	特別研究Ⅰ	8	4	4			必修	
	特別研究Ⅱ	8			4	4	必修	
	プロジェクト実験	2	2				必修	
	つながり工学演習	1		1			必修	
	つながり工学	2				2	選択	
	実務実習	2	2				選択	
	システム数理工学	2		2			選択	
	システム制御理論	2		2			選択	
	信号処理論	2	2				選択	
	電子物性	2		2			選択	
	プラズマ工学	2	2				選択	
	情報セキュリティ	2	2				選択	
	パターン認識	2	2				選択	
	数理論理学	2		2			選択	
	パワーエレクトロニクス特論	2			2		選択	
	情報ネットワーク	2		2			選択	
	生体情報工学	2			2		選択	
	アルゴリズム特論	2			2		選択	
	コンピュータ制御論	2			2		選択	
	形式手法	2			2		選択	
コンピュータアーキテクチャ特論	2				2	選択		
自律ロボット論	2				2	選択		
専門科目開設単位小計		55	16	15	14	10		
			31		24			
全科目開設単位合計		79	21	24	20	14		

注 1) 大学等で修得した単位は、30単位を限度として修得単位数に加えることができる。

注 2) 他の専攻で開設されている選択科目で修得した単位は、8単位を限度として修得単位に加えることができる。



# 大分工業高等専門学校案内



- (1) JR高城（たかじょう）駅から徒歩約 25 分
- (2) 大分駅前 6 番のりば〔図面参照〕から
  - ・ 萩原・アクロス前経由「明野団地」行き（D40, D41, D42）
  - ・ 萩原・アクロス前経由「パークプレイス」行き（D46, D47）で「大分高専」下車（所要時間 20 分）
- (3) JR大分駅からタクシー（所要時間約 15～20 分）
- (4) 大分自動車道を利用の場合・・・「大分米良 I C」から車で約 15 分  
東九州自動車道を利用の場合・・・「大分宮河内 I C」から車で約 15 分

## 【入試に関する問合せ】

大分工業高等専門学校 学生課教育支援係

TEL:097 - 552 - 6359 月曜日～金曜日 8:30～17:00（祝日を除く）